

火災安全システム利用確認書

年 月 日

清瀬市長 殿

申請者 住 所
氏 名
電 話

印

火災安全システムを利用するにあたり、下記事項を確認します。

- 電話回線はN T T一般電話回線（アナログ回線）を使用しています。
- 鍵の管理は、協力員（ ）氏に預けます。
- 緊急事態発生の場合は、別紙届出書の親族等に連絡を願います。
- 緊急通報を発し、受信室からの確認電話に応じない場合は、緊急通報協力員等関係機関の住宅内への立ち入りを認めます。
- 緊急時に緊急通報協力員等関係機関が住宅内に入るに際し、住宅等の一部に破損が生じても、修復責任を問いません。
- 貸与を受けた機器を汚損及び破損した場合は、実費相当額を負担します。
- 貸与の目的に反して使用、譲渡、貸付または担保に供しません。
- 利用申請書に記入した内容に変更があった場合は、速やかに市に連絡します。
- 貸与された機器を必要としなくなった場合、対象者に該当しなくなった場合は、速やかに市に連絡し、機器を返還します。

【以下該当者のみ記入】

- 火災安全システムの協力員の設置が困難なため、次の要件のすべてに該当することを確認します。
 - (1) 緊急通報システムを併用しない、火災自動通報用機器の単独利用です。
 - (2) 火災の事実の確認するため必要な場合は、消防隊が住宅等の一部を破壊することを承諾します。
 - (3) 確実に連絡が取れる緊急連絡先を記載します。

体内にペースメーカーを装着しています。

- 万が一のことを考え、無線ペンダント型を使用しない。
- 無線ペンダントは首にかけず、平時は30cm以上離して利用する。

電話回線を利用したサービス（ガス・セキュリティ等）を利用しています。

- サービス提供会社と協議のうえ、緊急通報システムを優先する事を条件に設置する。

住居が借家・公営住宅・民間アパート等自家ではない。

- 賃貸住宅等のため、所有者（管理者）に設置の承諾を得ています。

清瀬市緊急通報協力員届出書

清瀬市長 殿

私は、下記の者に関わる緊急通報協力員となりますので届出致します。

【活動内容】

市及び緊急通報受信室との緊密な連携のもとに高齢者の安否の確認を行うこと。又、必要に応じ市及び緊急通報受信室及びその他の必要な関係機関へ連絡すること。

火災安全システムを設置する者（対象者）氏名_____

緊急通報協力員（緊急時連絡順位 No.1）

年 月 日

住 所 清瀬市_____ 利用者との関係（ ）

ふり がな
氏 名 _____ 印

電 話 _____ 生年月日 昭和・平成 年 月 日

緊急通報協力員（緊急時連絡順位 No.2）

年 月 日

住 所 清瀬市_____ 利用者との関係（ ）

ふり がな
氏 名 _____ 印

電 話 _____ 生年月日 昭和・平成 年 月 日

緊急通報協力員（緊急時連絡順位 No.3）

年 月 日

住 所 清瀬市_____ 利用者との関係（ ）

ふり がな
氏 名 _____ 印

電 話 _____ 生年月日 昭和・平成 年 月 日

※担当の介護支援専門員が記入して下さい。

火災安全システム（専用通報機貸与）調査書

年 月 日

生活環境	①一人暮らし ②家族同居（高齢者世帯） ③家族同居（身体障害者世帯） ④家族同居（その他） ⑤その他									
健康状態	①ねたきり等 ②病弱 ③普通 ④その他									
歩行能力	①移動不能 ②はって歩く ③物につかまれば歩ける、介助されれば歩ける ④一歩ずつゆっくりならば歩ける、杖があれば短い距離を一人で歩ける ⑤ゆっくりならば歩ける、杖があれば一人で歩ける ⑥普通に歩ける（一人で不自由なく歩ける） ⑦その他									
就寝階	（ ）階									
就寝をする部屋	通報機と ①同室 ②別室 ※①に該当する場合記入して下さい。 （ ）㎡又は（ ）畳									
介護保険情報	介護保険被保険者番号									
	介護認定					要支援（ ）・要介護（ ）・認定なし				
【掛かりつけ医療機関受診状況・身体の状況等】										

記入者名	⑤	事業所名	(☎ — —)
------	---	------	-----------